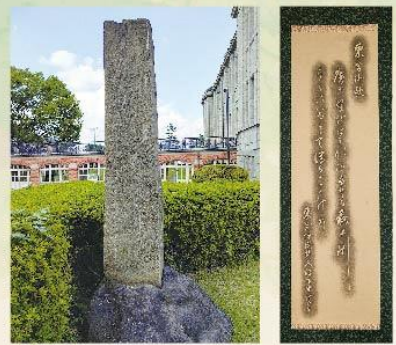


広き野を ながれゆけども 最上川 うみに入るまで にごらざりけり

昭和天皇が東宮でおられた大正14(1925)年、山形県に行啓された時にご覧になった最上川の様子を詠まれたこの歌は、現在「山形県民の歌」として親しまれています。

東宮行啓からおよそ100年。今回、江戸時代の川絵図や最上川に関係する資料から、最上川流域に残る歴史的文化や流域に暮らす人々の生活に注目し、最上川が持つ魅力にせまります。



御詠歌歌碑(山形県郷土館文翔館) 歌碑拓本(本館蔵)

展示構成

《第1部》最上川を詠む ～文学からたどる～ 《第2部》最上川を描く ～川絵図からたどる～
《第3部》最上川に生きる ～人々の暮らしと最上川～

山形県指定文化財の「羽州川通絵図(本館所蔵)」「松川舟運図屏風((公財)宮坂考古館所蔵)」をはじめ、最上川に関連する資料を数多く展示しています。



中心となる資料…羽州川通絵図(山形県指定文化財、本館蔵) ※右は拡大



松川舟運図屏風(右隻) ※右は拡大



記念講演会 (各回とも13:30~15:30)

①6月22日(土)

「最上川舟運で行き交うモノと文化・
くらしー民俗学の観点からー」

菊地 和博 氏

(東北文教大学人間科学部特任教授)



小輪舟船模型(本館蔵)

②7月27日(土)

「最上川水運と河川絵図の特色」

小野寺 淳 氏(放送大学茨城学習センター所長、茨城大学名誉教授)

※事前申込制、ギャラリートークあり、入館料が必要



最上川通絵図(左:船町本、大郷郷土研究会蔵 右:大石田本、本館蔵)



舟でめぐる最上川三難所

村山市にある最上川の「3つの難所」。船下りの様子を映像で紹介いたします。(撮影協力:株最上川三難所船下り)



デジタルパネル「空からながめる最上川」

現在の航空写真と
むかしの川絵図を、
画面にタッチして比べてみよう。
(写真はイメージです)



記念イベント

8月4日(日) 紅花や青苧を使ったアクセサリー作り
(協力:山形県立村山産業高等学校 みどり活用科草花班)
※申し込み不要、入館料が必要

展示解説会 (各回とも13:00~13:30)

①6月1日(土) ②7月6日(土) ③8月3日(土)
※申し込み不要、入館料が必要

「記念講演会」は事前申込み制となります。
詳しくは当館ホームページをご確認ください。



◆徒歩:JR山形駅西口より約10分
◆車:山形道山形蔵王ICより5km(約20分)、東北中央道山形中央ICより3km(約10分)
※正面駐車場10台(無料)